

2010年(平成22年)2月12日(金) 夕刊

は「大学側が見舞金を支払っていたことは知らなかった」と話している。【青木純】

性同一性障害

「思い尊重を」

文科相

性同一性障害（GID）と診断された埼玉県の公立小2年の男児（8）が、学年の途中から女兒としての登校を認められたことについて、川端達夫文科科学

相は12日の閣議後会見で、GIDの子供への支援に積極的な姿勢を示した。川端文科相は、埼玉のケースを確認していないとしつつ「当人にとって非常にアイデンティティーにかかわる問題。本人の思いを最大限尊重してあげべきだと思う」との見解を示した。そのうえで「法的な制度など幅広く検討する時期に来ている」と述べた。